

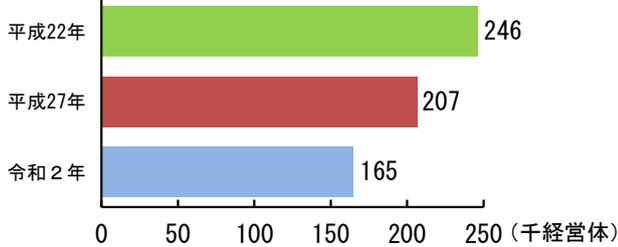


九州の農業

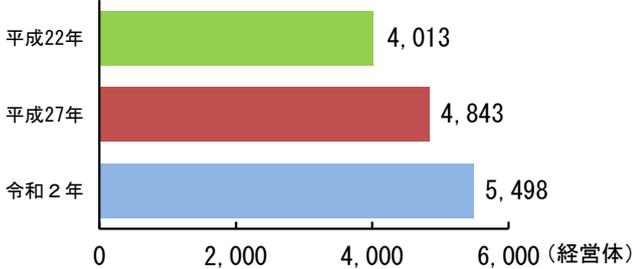
農業構造（農業経営体）

九州の農業経営体数及び基幹的農業従事者平均年齢の推移

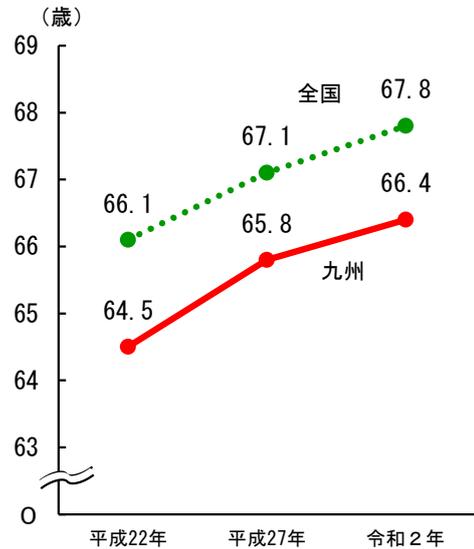
農業経営体数の推移（九州）



農業経営体数のうち法人経営体数の推移（九州）



基幹的農業従事者平均年齢



資料：農林水産省「農林業センサス」

注： 基幹的農業従事者
 基幹的農業従事者平均年齢
 農業経営体
 法人経営体

15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。
 平成22（2010）年は販売農家の数値、平成27（2015）年、令和2（2020）年は個人経営体の数値。
 経営耕地面積が30a以上の規模の農業、又は販売金額50万円以上に相当する規模の農業を行う者（農作業の受託を含む。）
 農業経営体のうち、法人化して事業を行う者。

九州における基幹的農業従事者の平均年齢は全国に比べ1.4歳若くなっていますが、平均年齢は66歳を超え、農業者の高齢化が進んでいます。また、農業経営体数は165千経営体であり、10年前に比べて約3割減少しましたが、法人化している経営体は1.5千経営体（37%）増加しています。
 また、九州各県では農産物販売金額5,000万円以上の農業経営体の割合が増加しており、佐賀県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県が全国平均を上回っています。



農産物販売金額5,000万円以上の農業経営体の割合

